

んっ、ちゅ…ふふっ、おめざめですか？

もっと可愛い声で感じてくれていいのに…ここは防音結界の中ですよ

勇者様、いつもよりあなたが魅力的に見えます。

さあ、もう一度口づけを…んう…チュッ

んっ…うん

ちゅ…ちゅう…ん、ちゅ…

はあ…はあ…ん、はむ、ちゅっ…れるれる…れる…ちゅう

こんなに乱れてしまうなんて恥ずかしい。

でも、好き…

あなたももっと、私に溺れて…

んちゅ、あなたとのキス、素敵です。

心と体が同時に満たされていくようで…

はあ…ん、はむ、ちゅっ…れるれる…れる…ちゅう

じゅるっ、くちゅ…くちゅ…あむっ、れる、れる…ちゅうちゅう、じゅう…

気に入っていただけましたか？

ふふっ♪じゃあもっとしてください。

今度は貴方から、私の全身にキスをして…？

ん、く…あうん…んっ…はあん…

見とれてる…そんなに綺麗ですか、私

ふふふ、褒められたら嬉しくなっちゃうじゃないですか…

でも本当かな？えいっ

どうやら言葉に嘘はなさそうですね。

おちんちん、こんなに硬くして悪い子です

私を求めてくれる勇者様を気持ちよくしてあげたいのですが…

準備はよろしいですか？

では両手でたっぷりくすぐってあげます。

まずはおちんちんの先端から

ん、んくっ…ん、はぁ…あ、うう…くうん…

えへ、カリをくにゅくにゅされるのが好きなんだ…

あっという間に我慢汁でヌルヌルですね？

次にくびれと裏筋の部分を…こちょっ

勇者様が素直だから

どこを触ってほしいのか私にはわかっちゃいます。

どんどん私の手のひらであなたの体を攻略してあげますから

あなたのせいで私の手がドロドロです。

どうしてくれるんですかぁ？

ふふふ、冗談です。

今からおちんちんを魔力で包み込んであげますからね

もう立っているのもつらそう…

ほら、ボウヤ♪私の隣へいらっしゃい

ふふっ、お子様扱いは苦手かな？

ちょっといじめすぎてしまいましたか。

じゃあ今度は癒やしてあげますね。私の魔法で…

薄くて白い魔力のコーティング…

これは停滞の魔法。

感じやすいまま、刺激がゆっくりおちんちんに溜まっていくのです

いきたくても自分じゃイけませんよね。

でもこれが気持ちいいんですよ

たくさん我慢すればする程、

後でご褒美がもらえちゃうんですから、

頑張ってみてもいいでしょう？ふふっ

気持ちいいのが積み重なったところを、

さらに甘〜く刺激されたら天国ですから

ゆっくりしごいていじめてあげる

勇者様、愛してます…だからもっと私だけを見て

目をそらしちゃダメ…

もっと深く、私の目の奥を見つめて。

名前も呼んで、可愛くおねだりして？

そう、あなたはディーナが好き…

もっと優しくいじられて、心と体を犯されたいのでしょうか？

無防備になったあなたの心、ゆっくり撫で回してあげる

んっ…んん…ふあ、ああ…ん、くう…

はあっ…ああ…あっ…ふふ、すごく気持ちよさそうな声♪

まさかもう限界？早いよね、勇者様

じゃあ私の手で

優しくトドメをさしてあげますね。えいっ

あ～あ、そんな簡単にイっちゃだめじゃないですか～。
我慢できない子にはおしおきです

ん、んくっ…ん、はぁ…
シコシコ、シコシコ、シコシコシコシコシコっ…

私の指でいじめられてるのに体が動かさないでしょう？
魔法を解除する前におちんちんが弾けちゃったから、
これは罰ゲームです。それっ

あれあれ～？急に体が重くなっちゃいましたね。
無防備な状態で心が墮とされてしまうとそうなるのですよ

今のは魅了の魔法です。
これは普通の僧侶が扱える魔法ではないですけど、
今の私ならたやすいこと…ふふっ、あはははははは！

まだ気づきませんか？
勇者クン、やはり貴方と私は相性がいいみたいです

ほらぁ、ここを見て…

貴方が知るディアーナのおなかに、
こんな美しい紋章がついていたかしら？

怯えるその顔、素敵です。見覚えがあって当然。
だってあなたはコレを持つ相手と死闘を繰り広げたのですから

さすがにもう気づいたでしょう。
この時を待っていたわ、勇者クン。さあ、私と契りましょう

勇者の剣によって、私の肉体は滅びたわ。

でも、死ぬ間際にあなたの愛しい仲間に魂のくさびを打ち込んだの。

魔境（まきょう）に映された哀れな僧侶の、聖なる体に

今はまだ半信半疑ってところかしら。

じゃあ、その心をディアーナの魅力を使って塗りつぶしてあげる

あなたの欲望をすべて叶えてくれる墮天使が、ここに降臨したの。

聖なる力を持ったサキュバスとして、華麗に勇者をもてあそぶ存在として！